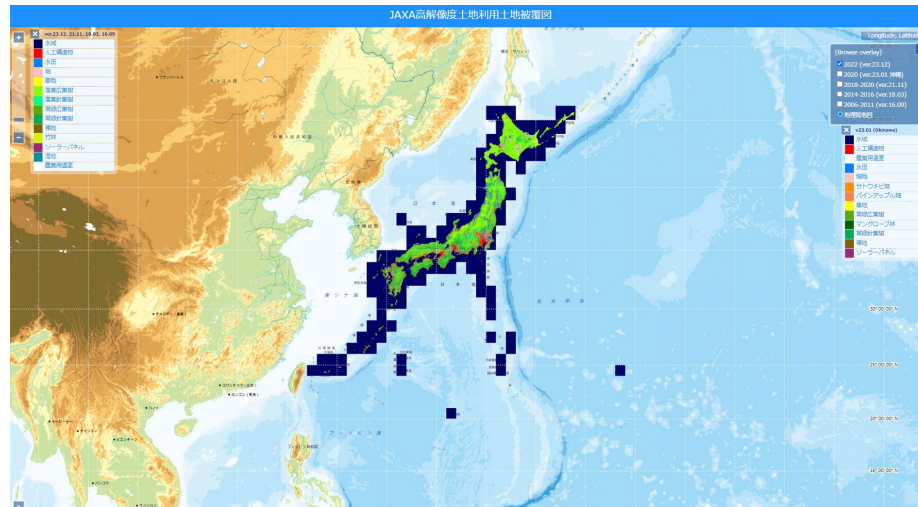


JAXA 高解像度土地利用土地被覆図 (LULC: Land Use Land Cover)



衛星が観測したデータを活用して、土地の使い方や覆われているものを地図上で調べることができるサイトです。

2006年以降のデータがあり、以前と比べてどのように変化したかを見比べることができます。また日本だけでなく、ベトナムのデータもあります。

高解像度土地利用土地被覆図データの閲覧サイトは[こちら](#)です。

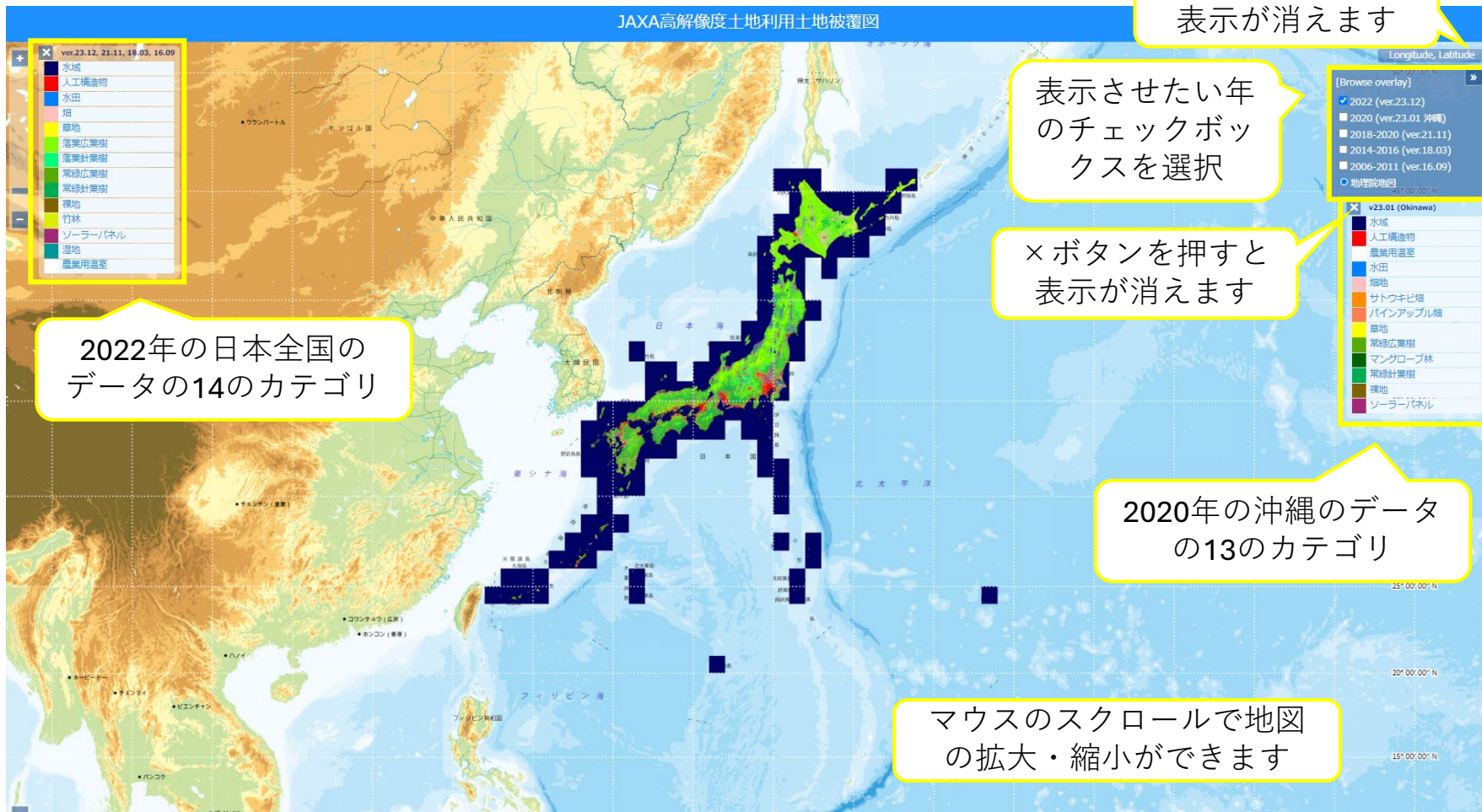
サイトについての詳細な解説は[こちら](#)です。

※データをダウンロードするには、登録が必要です。

登録は、[こちら](#)からできます。登録する前に、[利用規約](#)をお読みください。

登録が完了したら、[こちら](#)からデータをダウンロードできます。

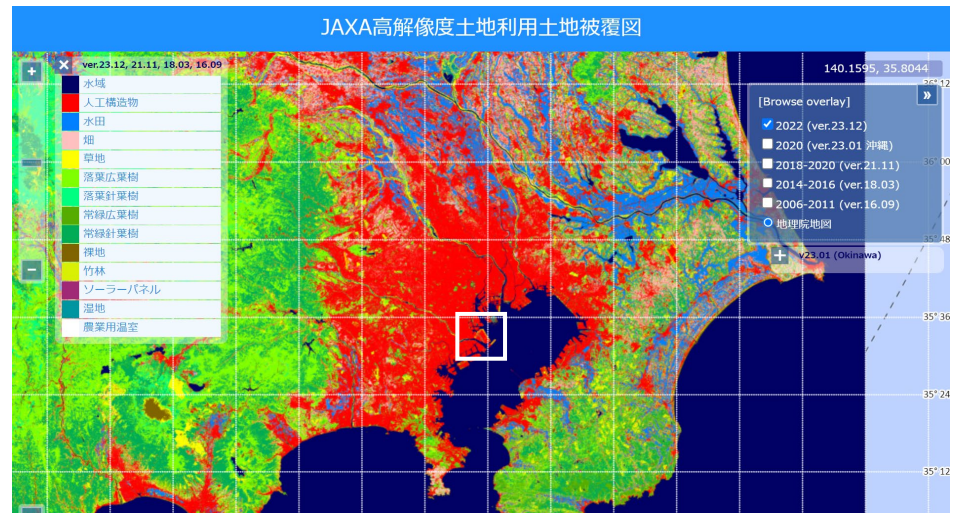
では早速「[閲覧サイト](#)」よりデータを見てみましょう。
まずは画面の操作方法を確認しましょう。



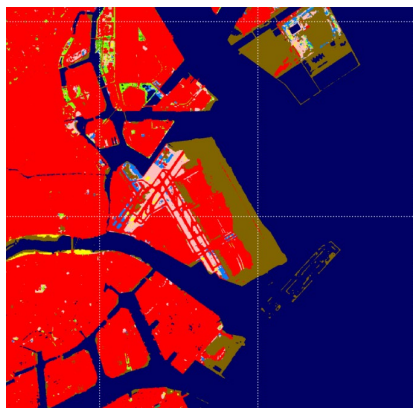
続いて地図を拡大して見てみましょう。

右図は**2022年**のデータで、東京湾周辺を拡大したものです。都市部は人工構造物（赤色）が、その他は森林（緑色）が多いことが分かります。

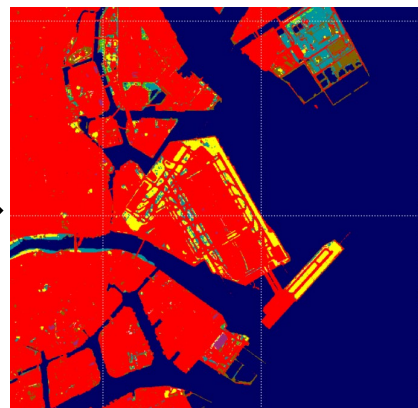
続いて白枠内の羽田空港を見てみましょう。以前と比較してどのような違いがあるのでしょうか。



2006-2011年

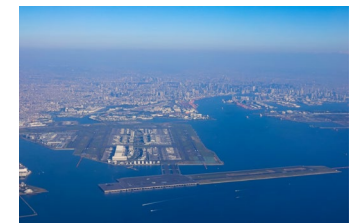


2022年



2006-2011年のデータではまだうっすらと裸地（茶色）と識別されていたD滑走路が、**2022年**では人工構造物（赤色の滑走路）と草地（黄色）としてはっきり識別されています。

（D滑走路は2007年に着工、2010年に供用開始したため2006-2011年の大半は供用前）



羽田空港上空からの写真（手前に見えるのがD滑走路）

是非、自分が住んでいる地域も見てみましょう。